

地域コミュニティの
発信基地

阿品台公民館

昭和58年4月開館以来、地域コミュニティの発信基地として、多くの住民の皆さんに利用されてきた阿品台公民館。昨年度の利用者数は、36,896人。市内（廿日市地域）の公民館で唯一ある市民課窓口業務利用数は、2,767件、自主活動グループも73団体あり、利用率の高い公民館です。公民館には「つどい」「学ぶ」「結ぶ」という機能があるといわれていますが、地域で身近に文化とふれあうことの出来る所です。利用活動の詳細状



題字 (故) 林 邑一

第39号
平成17年11月30日
阿品台地区コミュニティをすすめる会事務局
(TEL39-4338)
阿品台地区人口・世帯数
平成17年9月1日現在

・人口	男	4561人
	女	5147人
・世帯数		3505世帯
・未成年者数		2055人
・高齢化率		15.1%
(参考：市平均)		17.9%

況は、ホームページ・公民館だよりでご承知の通りです。公民館だよりで案内されている学習活動は次のようになっていきます。

学級とは

生涯の各時期にわたり対象を限定し、年間を通して計画的に学習する。

- 福祉カレッジ
- いきいき広場
- 子育て応援
- わんぱく教室
- こども太鼓 など

講座とは

住民の要求課題や、行政・公民館の必要課題について短期間で計画的に学習する。

- 異文化交流講座
- パソコン活用講座
- 人権学習講座

- 平和学習
- 手作り講座 など

クラブとは

公民館で学習したことを、さらに深めたいという人が集まって（原則として10人以上）自主的に運営するもので、講師謝金は会員が負担し、公民館としては場所の提供をするもの。年一回（申請期間有り）登録し、活動内容・会員名簿等提出する。

毎年秋には、日頃の学習成果発表の場として『公民館まつり』が賑やかに開催され多くの皆さんに喜ばれています。図書室には、7,400冊の蔵書があり、いつでも、誰でも、身近な所で学べる場として使われています。サマーコンサート・料理教室などコミュニティをすすめる会各部の催しも多く行われています。館長の河崎さんは、「社会の急激な変化に対応出来る多

様な学習機会・情報の提供に努めるとともに、学習活動を通じ世代を超えて「ふれあい」「学びあい」の場を作り、より多くの皆様にご利用していただきたい」と語っておられます。あなたも是非、公民館に足を運んでみてください。

お世話になります

職員紹介

館長	河崎 日出夫
主事	池田 芳子
主事	遠藤 里美
臨時職員	小西 美保子
臨時職員	森重 史子
臨時職員	蓮尾 聡美
臨時職員	井上 淳子
委託職員	小山 貢
委託職員	後藤 俊徳
委託職員	坂本 康

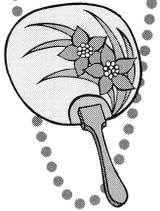
(敬称略)



第26回

阿品台納涼盆踊り大会

8月6日(土) 阿品台東小グラウンド



夏に阿品台東小学校で行われた盆踊り大会はとても楽しい行事でした。

地域の人たちが運営していた夜店がいくつもあり、子ども達がヨーヨー釣りをしたり、

焼き鳥やたこ焼きなど色々なものも売られていました。

私たちが夕飯に好きなものを買ってみんなで食べましたが、とても美味しかったです。

盆踊りは浴衣姿の人達が円

になって大人から子どもまでみんな楽しそうに踊っていて、観ている方まで楽しい気持ちになりました。ステージの方でも次々に様々な催し物をやっていて全体的に盛り上がっていて賑やかな雰囲気でした。空が暗くなると原爆追悼の花火が始まると集まっていた人々が全員空を見上げて花火に見入っていました。

最後は抽選会の当選者の発表がありました。でも私の番号はハズレで少し残念でした。初めて参加しましたが、本当に来て良かったです。

廿日市西高等学校 写真部



婦人部

- 7月12日 革アクセサリー作り
- 7月29日 サマーコンサート
お菓子作り
- (クッキー、レモンケーキ)
- 7月30日 サマーコンサート
- 8月9日 ベーグルパン作り
- 9月1日 スペイン料理
(フライパンで出来る
パエリア他)



青少年部

- サッカー大会 6月19日(日)
阿品台西小学校グラウンド
- あいさつ運動 毎週水曜日
7:45~8:15
- 楽しくクッキング
毎週第4土曜日
阿品台公民館調理室



文化部

第8回 サマーコンサート

7月30日(土)

阿品台公民館

音楽ボランティア「さ
ともの会」のメンバ
ーをはじめ、コーラスさ
らんぼの皆さん、楽しい
演奏、なつかしい歌の数々
ありがとうございました。

婦人部の皆さん、おい
しいクッキーごちそうさ
ま。

阿廠太鼓サマーライブ

8月21日(日)

日本赤十字

広島看護大学

津軽三味線、めずらし
いジャズダンスとのセッ
ションなどすばらしいス
テージでした。



第3回

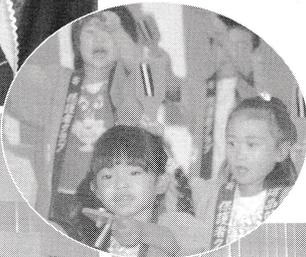
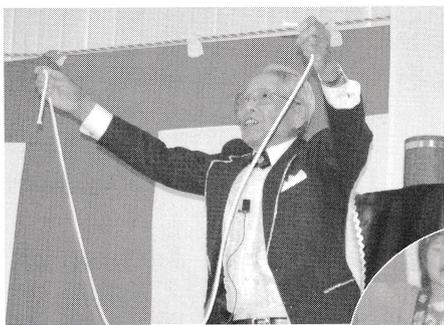
阿品台敬老会

9月19日(日)

日本赤十字広島看護大学

開会前の突然の雨にもか
かわらず、皆さん喜々とし
て集われ、手品、二胡の演
奏等に、楽しいひとときを
過ごされていました。

☆廿日市西高等学校の写真
部の皆さんが、納涼盆踊り
大会・敬老会の写真撮影を
してくださいました。ご協
力ありがとうございました。



祝 阿品台敬



阿品台の沿革

阿品の本谷には、昔「はみが首」という所があり、その奥の大岩近くにジャコウの香りを放つ大蛇が住んでいたとの伝説があります。この「はみが首」の先端にあった土盛りが、今から千二百年位昔の阿品積石塚で、阿品の土豪を祀ったものと伝えられています。阿品に人の生活が始まったのはこの頃と考えられます。阿品の氏神である岩神神社の祭神は、足名権あしなごんともいいます。足名権は、農耕の神様で、阿品の地名は、この阿名権によるといえます。またこの外にも、昔この辺が葦の原であったことによるという説、昔弘法大師がここで水を飲まれた時に「味なし」といわれたことによる、などの説もあります。

現在国道2号線とバイパス

が交差する辺りに火立岩ほたていわという岩山がありました。弘治元年（1556年）厳島合戦の時毛利軍の軍船がここに集結し、本陣とされた所です。この時農民は海岸に数百の篝火を焚き毛利勢を助けたといえます。荒地を再開発し、毛利氏の時代にはこの辺りを「阿字名村」と呼んでいましたが、江戸時代には地御前村の内と方一方を本郷と呼ぶのに対し、当地は阿品組と呼ぶ枝郷となりました。

明治になると11年（1878年）に阿品新開が拓かれます。同18年（1885年）には、国道2号線が当地を通り、更に大正14年（1925年）には電車宮島線が開通して阿品電停が設けられるなど、交通事情が一変し、夏には海岸は広島方面からの海水浴客で賑わいました。

阿品台は、新住宅市街地開発事業として昭和49年から広島県が造成し、昭和52年に完成。昭和53年には阿品台野球

場・テニスコート建設、広電田尻駅が開設され、路線バスも開通し廿日市ニュータウンの入居が開始されました。

阿品台という名称は昭和52年ごろから小字として呼ばれ始め、昭和56年11月1日から住居表示として正式に決まりました。

教育機関を初め、病院・スーパーなどあらゆる諸機関・施設が整い、昭和63年には廿日市市が誕生。JR阿品駅が開設され、益々賑やかな住宅地に。今ではナタリー遊園地跡にはマンションが立ち並び、景観も大きく様変わりしました。

平成12年には日本赤十字広島看護大学が開学。

市内最大の住宅街としてめざましい発展をとげてきました。

世界遺産の宮島を一望できる環境に恵まれたこの地域。市の西端であった阿品台も大野町・宮島町との合併後は、市の中心拠点として更に発展していく事でしょう。

投稿募集

貴方の意見を地域の皆さんに伝えませんか！



本誌は阿品台コミュニティをすすめる会の活動をより活性化、支援することを目標に、年二回、3500部を発行し、阿品台地域の全家庭に配布しているミニコミ誌です。いままでは、各町内から選ばれた広報部員の方々からの情報・意見中心で編集を行ってきました。今後は、地域の皆さんから直接の情報・意見を多く取り入れ、より楽しいミニコミ誌をつくって行きたいと思っています。

- 一、随筆・寸評・小説・俳句・和歌・川柳等の作品
- 二、掲載したい記事
- ①個人・団体の活動状況・結果を皆さんに紹介し地域のコミュニティを推進するもの
- ②啓発・教育的な記事
- ③その他
- 三、記事にしたいテーマ（記事は編集部がテーマに従って取材・調査して記事を作成します。）
- 四、編集に関するご意見等々、何でも結構です、どんどんお寄せ下さい。

●連絡場所は広報部事務局 (FAX39-2950、Eメール:k-takagi@cg7.So-net.ne.jp)